ICTを活用した学びの創造推進事業(第5学年社会科)学習指導案

学 校 名 新居浜市立垣生小学校 職・氏名 教諭・篠原 淳夫

1 日時・場所 平成23年11月28日(月)第5校時(13:30~14:15)・パソコン室

2 単元名 工業生産と貿易

- 3 単元目標
 - 日本の貿易の特色や変化に関心をもち、工業生産と貿易の関わりについて意欲的に調べようとする。

【社会事象への関心・意欲・態度】

- 貿易が日本の工業生産において、重要な役割を果たしていることや日本の貿易の問題点、その解決方法や 他国と協力して貿易を進めていくことの大切さについて考え、表現する。 【社会的な思考・判断・表現】
- 各種の資料を活用して、必要な情報を集め、日本の貿易の特色や変化を読み取ったりまとめたりする。

【資料活用の技能】

○ 日本の工業生産における貿易は、原料や燃料の確保、製品の販売において重要であるとともに、他国との間に解決すべき問題点があることを理解する。 【社会的事象への知識・理解】

4 本単元の指導観

(1) 単元について

本単元は、原材料の確保や製品の販売などに見られる貿易や運輸の働きを取り上げ、それが工業生産を支える大切な働きをしていることを具体的に調べることを通して、我が国の工業生産が、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにすることをねらいとしている。

我が国の工業生産は、原材料を加工してその形や性質を変えたり、部品を組み立てたりして生活に役立つ製品を作り出している。これらには、原料や燃料の確保、製品の販売などに見られる貿易や運輸の働きが大変重要である。また、近年、アジア諸国からの工業製品の輸入が増加したり、海外での現地生産、技術指導が広がったりするなど、貿易や海外との関わりが変化している。

我が国の貿易の特色を、既習事項と関連させながら具体的に調べることで、工業生産における貿易の役割や重要性について理解するとともに、その問題点を日本と外国との関わりにおいて考えることで、社会生活についての理解が図ることができると考える。

(2) 児童について

本学級の児童(男子12名、女子11名)は、これまで、米作りや水産業の学習を通して、自分たちの生活を支える食料生産について考えてきた。また、地図や統計資料、写真などを活用しながら、食生活の変化やそれに伴う食料生産の変化についても学習してきた。しかし、多くの児童は、地図や統計資料、写真などを活用しながら、情報を読み取ったり、変化の様子をつかんだりすることが苦手である。また、読み取った情報を関連させて考えることを苦手とする児童も多い。そこで、統計資料のタイトルやデータから読み取れることや解釈できることを一つ一つ確認しながら学習を進めてきた。その結果、グラフなどの見方や読み取り方に慣れてきているものの、資料を十分に解釈するまでには至っていない。

ICT 機器の活用においては、見つけたり調べたりしたものを書画カメラで写して説明したり、パソコンを利用して調べ学習をしたりしてきた。しかし、ICT 機器の機能を生かして活用することは不十分で、その操作も技能も個人差がある。

(3) 指導について

本単元の導入では、日本有数の貿易港である横浜港を取り上げる。横浜港は、京浜工業地帯にあり、日本を代表する貿易港であるので、日本全体の貿易をイメージしやすいと思われる。そこで、写真や資料から横浜港の様子や外国とのつながり、貿易品などを確認する中で、我が国の貿易に対する関心をもたせ、日本の工業が貿易を通じて世界とどのように結び付いているかという学習問題に繋げたい。

追究段階では、輸出入品やその割合の変化、輸出入相手国などを具体的に調べることを通して、我が国の 貿易の特色をつかませたい。その際、ICT機器を活用して、グラフなどの統計資料の読み取りの指導をした り、読み取ったことを発表させたりして、貿易の特色をつかむための手立てとしたい。そして、国民生活を 支える工業生産における貿易の役割や重要性について考えさせたい。

練り合い・高め合いの段階では、我が国の現在の貿易が抱える問題点を知り、我が国のより良い工業生産の発展のために、これからの貿易や外国との関わりのあり方について考えることを通して、社会の一員としての自覚をもたせ、将来にわたって生きて働く行動力を育てたい。

5 指導計画	(全6時間)
学	習問題 教師の問いかけ 予想される まとめ 資料
社会的事象との出会い(1)	横浜港ではどんなものが輸出入されているでしょう
νшд (1)	・横浜港の様子 (写真) ・横浜港輸出入品のうちわけ (グラフ)
	・輸出では、機械類や輸送用機械が多い。 ・輸入では、機械類や原油などの燃料、金属の原料などが多い。 ・輸入額よりも輸出額のほうが多い。 ・日本全体では、どのような物を輸出入しているのだろう。
学習問題 I の 設定	日本の工業は、貿易を通じて世界とどのように結びついているのだろう
個や小集団に よる追究(3) (本時2/3)	日本の輸入の特色を調べよう。 日本の輸出の特色を調べよう。
	・原油、機械類などのさし絵 ・輸入相手国のうちわけ(グラフ) ・主な輸入品の取扱額の割合の変化(グラフ) ・主な輸出品の取扱額の割合の変化(グラフ)
	・日本の輸入額は年々増加しており、この50年で約14倍になった。 ・燃料類を多く輸入している。 ・機械類の輸入額が、1980年から大きく増加し続けている。 ・アジアの国々からの輸入が多くアメリカからの輸入も多い。 輸入も多い。 ・現地生産や製造技術などを伝えるなど、変化してきている。
練り合い・高 め合い(1)	日本の貿易の特色をまとめよう
	・加工貿易の図
本質的把握 I	日本の工業生産は、原料や燃料の確保、製品の販売など、貿易を通じて世界の国々と深く結びついている。また、近年、アジア諸国からの工業製品の輸入が増加したり、海外での現地生産や技術指導が行われたりするなど、外国との関わりが変化している。
学習問題Ⅱの 設定 練り合い・高	日本の貿易の問題点について話し合おう ~日本はこれから世界とどのようにかかわっていけばいいのだろう~
め合い(1)	・輸出入の特色を表した図や写真 ・自由な貿易に反対する人の様子(写真) ・外国産の衣類を売る店(写真)
本質的把握Ⅱ	各国の特徴を生かして貿易を行うことで、国内にないものやより安いものが手に入ることはよいことである。しかし、それによって困る人が出たり産業が衰退したりするなどの問題点がある。解決策として関税をかけたり、自由貿易が進められたりしているが、解決すべき問題点もある。それぞれの国の立場や状況を考えながら、協調し、互いが豊かになるような関わり方をしていかなくてはならない。

6 評価の観点

- Fit lies - CAMIII.						
評価の観点	評価基準	評価方法				
社会事象への	日本の貿易の特色や変化に関心をもち、工業生産と貿易の関わ	発表内容				
関心・意欲・態度	りについて意欲的に調べようとしている。	観察				
1	貿易が日本の工業生産において、重要な役割を果たしているこ	発表内容				
社会的な	とや日本の貿易の問題点、その解決方法や他国と協力して貿易を	ノート記述				
思考・判断・表現	進めていく大切さについて考え表現している。					
資料活用の技能	各種の資料を活用して、必要な情報を集め、日本の貿易の特色	発表内容				
質性位用りが対比	や変化を読み取ったりまとめたりしている。	ノート記述				
社会的事象について	日本の工業生産において貿易は、原料や燃料の確保、製品の販	発表内容				
の知識・理解	売において重要であるとともに、他国との間に解決すべき問題点	ノート記述				
♥ノスロロ戦 * ▶壬州牛	があることを理解している。					

7 本時の指導 (3/6時間)

- (1) めあて
 - 日本の工業生産における輸入の変化について、統計資料を活用して調べ、考える。
 - 日本の工業生産における輸入の特色について理解する。
- (2) 本時の指導に当たって

本単元では、貿易の特色や変化の様子を、既習の自動車生産と関連させながら具体的に調べる活動を通して、国民生活を支える工業生産における貿易の役割や重要性について理解するとともに、その問題点にも目を向けて日本と外国との関わりついて考えさせたい。

本時では、統計資料を読み取りながら、日本の輸入の変化をつかませたい。その際、ICT機器を活用して新たな資料を作成することで、資料をより深く解釈したり日本の輸入の変化をつかんだりさせるとともに、資料を読み取る力を高めたい。そして、前時に学習した輸入品や輸入相手国を踏まえて、日本の輸入の特色を自分の言葉でまとめることで理解を深めさせたい。

(3) 準備物 ワークシート パソコン プロジェクター 書画カメラ

(4) 展 開

学習活動	時間(分)	学習内容	○指導の工夫 ◆ICT 活用◎評価(評価方法)
 前時の学習 内容を確認する。 日本の工業 生産における 輸入の変化を 調べる。 	5 25	日本の、輸入の特色を調べよう 日本の工業生産における輸入は、どのように変わってきたのだろう。 「1962年 「原油など 機械類 原料品 514 514 515 505 165 145 515 155 165 145 515 155	◆ 前時の学習(日本の工業生産における輸入品や輸入相手国)を想起させ、学習課題を確認させる。(プレゼンテーション) ○ 提示資料の表題や単位などを確認させる。 ○ グループで輸入品の変化を読み取らせる。 ○ 読み取らせる。 ○ 請み取る視点を助言する。 ◆ 輸入総額や品目ごとの輸入額の変化を考えるため、ICT機器を利用させる。(表計算ソフト) ⑥ 日本の輸入の様子について統計資料を活用して考えることができたか。(発表、発表資料、観察、ノート)

3 日本の輸入 の特色をまと める。 15

日本の輸入の特色をまとめよう

輸入品や輸入相手国をまとめた資料

日本は、昔から原油などの燃料を多く輸入しているが、最近は、機械類の輸入が増えてきている。また、輸入相手国は、中国を筆頭にアジアの国々が多く、アメリカからの輸入も多い。輸入の総生産額は、この50年で約14倍になるなど年々増加しており、輸入は日本の工業生産において重要である。

- ◆ 伝えるために、ICT 機器を活 用しながら発表させる。(パソ コン、書画カメラなど)
- 輸入品や輸入額、その変化、 輸入相手国に着目して、まと めさせる。
- ◎ 日本の工業生産における輸入の特色を理解できたか。(発表、ノート)